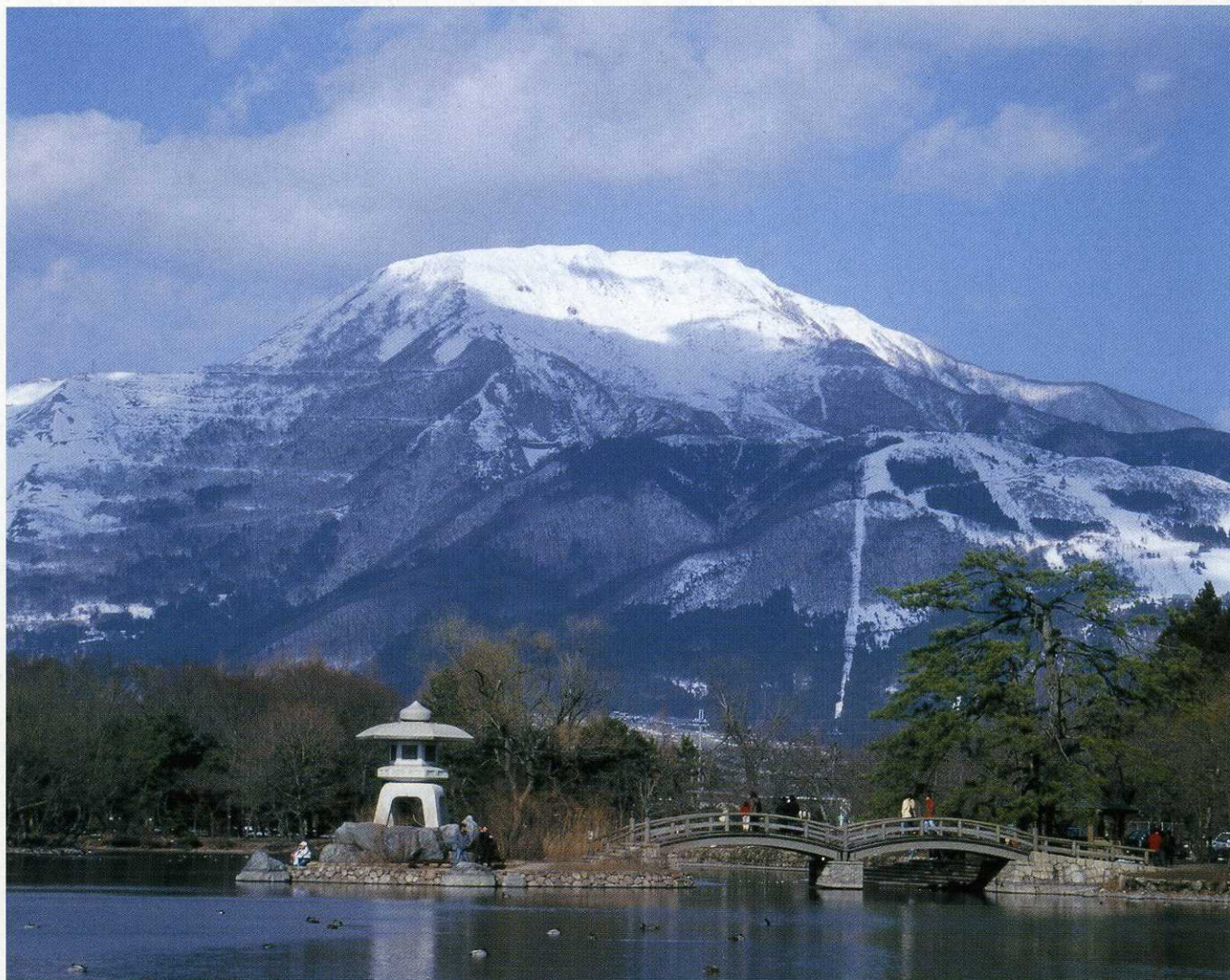


東海鉄道OB会報

第4号

平成18年1月



三島池畔【米原市（旧山東町）】から伊吹山を望む【撮影：関ヶ原支部 柏 昌孝】

目次

会長新年挨拶	2
JR東海松本社長新年挨拶	3
平成十七年度名古屋地方本部長表彰式 名古屋地方本部 加藤寿美夫	4
平成十七年秋の生存者叙勲受賞者	4
二十五回目を迎えた地方本部主催団体旅行 名古屋地方本部事務局	4
愛・地球博で 「農兵節・追想三島山中城」を披露 三島支部長 大川一雄	5
伊勢支部活性化への諸行動について 伊勢支部 村林隆吾	6
SL清掃 沼津支部長 赤羽隼雄	7
お召機関車C57139号のお化粧直し 名古屋機関区支部長 永墓克巳	7
JR東海トップピクス	8
グループインフォメーション	11
読者のひろば	13
詰将棋	15
「会報への寄稿、文芸欄への投稿」要領 編集後記	16

新年を迎えて



東海鉄道OB会会長
堀内 章

平成十八年を迎え、あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、ご家族ともどもお健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

平成十七年四月一日に東海鉄道OB会としてスタートし、初めての新年を迎えました。

この間、新しい組織の基礎づくりのため、東奔西走の毎日ではありましたが、JR東海はじめグループ各社の強力な後押し

を受け、また、会員の皆様の理解と協力を得ながら、進んでまいりました。

新しい年を迎え、われわれ一同は何時までも甘えの気持ちに絶ることは許されません。

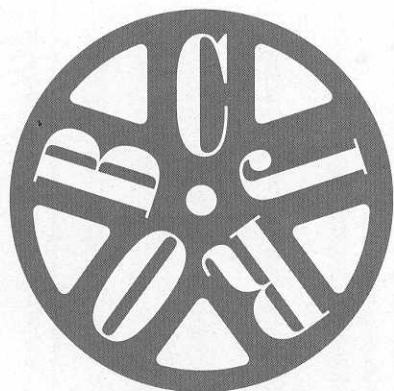
内には、会員相互の親睦を深め、会の発展を目指すことは勿論ですが、組織の足腰を十分鍛え、新しいJR退職者が入会し易い魅力ある組織を築き上げなければならぬと考えております。

一方、東海鉄道OB会の設立に際し、物心両面に亘って、ご協力をいただいたJR東海はじめ、グループ各社に対しましては、従来よりも一層強力な協力活動を推進しなければ、ならないと考えております。

われわれは、東海鉄道OB会という、自主自立をした新しい

組織を、より早く発展させ、安定化を図り、行動のできる方向に進めなければなりません。

引き続き、会員の皆様のご理解とご協力をいただきながら、組織の充実と発展のため、尽力してまいりますので、よろしく願いをし、新年のご挨拶いたします。



東海鉄道OB会
シンボルマーク

新年を迎えるにあたり



東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長
松本 正之

あけましておめでとうございます。年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年開催された「2005年日本国際博覧会」は、2200万人の方が来場され、盛況のうちに閉幕いたしました。この間、万博成功の大きな鍵と言われた会場輸送を、全社員の協力のもと、東海道新幹線、在来線とも無事に完遂することができました。また、当社の出展した「JR東海 超電導リニア館」では、最先端技術である超電導リニアの先進性や完成度を広く世界にアピールし、輸送・出展の両面で万博成功の一翼を担うことができました。

一方、昨年は鉄道事業の安全が問

われた年であり、当社においてもあらためて総点検を行い安全性の確認を行いました。安全は鉄道事業者の最大の責務であり、今後も引き続き気を引き締め、より一層の安全確保に努力してまいります。

さて本年を展望すると、引き続き安全・安定輸送の確保を最優先とし、東海道新幹線については、昨年3月に設定した「のぞみ」を1時間あたり最大8本運転するダイヤをベースに、新ATCの導入などにより一層便利で快適な輸送を提供するとともに、地震対策を着実に推進いたします。また、N700系車両については平成19年の営業運転開始を目指し、引き続き走行試験を行ってまいります。

在来線については、速度超過防止用ATCの増設など安全対策をより一層充実するほか、新製車両を大量投入するなど、さらなるサービス向上を図ります。

営業面では、昨年12月に新神戸へ拡大した「エクスプレス予約」を、今年夏には山陽新幹線全線に拡大しトータルの輸送サービス向上に努めるとともに、新幹線・在来線ともICを活用した新たなサービス展開に向けた準備を行います。さらに、京都や奈良、伊勢、山陽など各方面へ

の観光キャンペーンを強化し、新たな需要の創出に積極的に取り組んでまいります。

研究開発については、高速鉄道に関するテーマを中心に、現場に密着した技術的課題から長期的視点に立った基礎的研究まで幅広い分野で着実に取り組み、一つひとつ実用化を図ってまいります。また、超電導リニアの開発については、昨年11月の高温超電導磁石による時速500km達成を跳躍台に、耐久性の向上やコストダウンなどを進め、完成度をさらに高めてまいります。

さらに、関連事業については、グループ会社間の連携を強化し、企業グループとしての発展を目指してまいります。中核となるJRセントラルタワーズ事業において一層の競争力強化を図るとともに、JR東海新横浜駅ビル（仮称）計画や社宅跡地開発計画などを着実に推進します。また、高度先進医療を提供する「JR東海病院（仮称）」についても7月の開院に向けて準備を着実に進めてまいります。

本年も、東海鉄道OB会の皆様の御健勝・御活躍をお祈りするとともに、JR東海に対して変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成十七年度名古屋地方本部長表彰式

名古屋地方本部 加藤寿美夫



従来、名古屋地方本部では、地方本部長名の表彰を実施していませんでしたが、今回の組織改編を機に他の地域・地区の現状や会員の表彰に対する関心度等を勘案し、名古屋地方本部長名による表彰制度を新設し、実施することになりました。

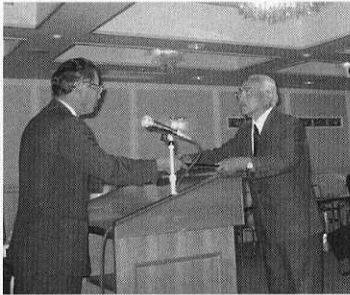
今回、各支部から推薦のあった候補の中から、平成十七年度の名古屋地方本部長表彰者を決定し、このほど次のように表彰式を挙行了しました。

平成十七年度名古屋地方本部長表彰式

- 一 開催日時 十月三日（月）十一時から
- 二 開催場所 愛知厚生年金会館 百合の間
- 三 表彰式次第

①表彰状授与

長年にわたり、OB会の発展と業務運営に多大の貢献をし、業績を挙げた個人及び団体として、名古屋地方本部長表彰の栄に浴した二団体、九個人の方々に、地方本部長から一人ひとりに表彰状が授与



され、その労をねぎらいました。
受賞された方々は、次のとおりです。

（敬称略）

（団体）

千種名東支部 （代表者 安田 和好）
伊勢支部 （代表者 中村 豊）

（個人）

稲機支部 山川誠一 中津川支部 原 寛明
岐阜支部 臼井郷弘 木曽支部 水野 恒
西濃支部 今村富雄 津島支部 水谷春夫
垂井支部 栗田武一 津 支部 岡山嘉久
東濃支部 若月嘉美

②地方本部長祝辞

③来賓祝辞

④昼食懇談会

表彰式の後では、受賞者をはじめ出席者全員で昼食懇談会に移り、参列者代表の湯浅稲機支部長の乾杯音頭で始め一同心を和ませて懇談を行いました。



平成十七年度秋の生存者叙勲受賞者

東海鉄道OB会員で平成十七年秋の生存者叙勲を受賞されたのは次の四名の方です。

おめでとうございました。

瑞宝小綬章 長谷川 優 様 （清水支部）
瑞宝双光章 梅原 久男 様 （焼津支部）
瑞宝单光章 太田 玉夫 様 （四日市支部）
瑞宝单光章 岩岡 太一 様 （清水支部）

二十五回目を迎えた 地方本部主催団体旅行

名古屋地方本部事務局

名古屋地方本部では、毎年会員各位の協力をいただき実施している地方本部主催旅行を、平成十七年度は、「信州の鎌倉めぐりと戸倉上山田温泉の旅」と銘打って、十一月一日から二日にかけてJR東海バス五台により旅をした。

今回の旅行が、丁度二十五回目となる記念すべき旅行であったので、今回の旅について若干触れることにした。

地方本部で、参加者を集約したところ、例年より若干少ない一七〇名の参加申込みがあり、十一月一日から二日にかけて旅をした。

バスは、機動性に優れているところから、可能な限り地方本部内を方面別に集客することにしており、一号車は東海道下り方面、二号車は中央線方面、三号車は名古屋市内の一部と稲沢、寿号車は関西線方面、五号車は東海道上り方面に名古屋市内といった具合で、JRバス名古屋駅出発となる五号車には、JR東海バスの幹部の方々の見送りを受けての発車となった。



中央道をそれぞれが一路集結地恵那峡SAに集まって小休止したが、ツバメをつけたバス五台が揃うと壮観で、他社の観光バス客の視線を集める中、昔馴染みと顔を合わせ「久しぶりだなあ、元氣か」の会話がアチコチであり、次なる昼食場所に車は進んだ。

秋真盛りの中央道を、ツバメバス五台が隊列を組んで走る勇姿は、周囲の紅葉に映えて見事の一語に尽きる。好天にも恵まれ、一方、車内では昼食前というのに、お互いに持ち寄った酒に手をつけ、荷物を軽くす



るためと理由をつけて、酒盃を傾ける元気のよさである。

伊那谷の昼食場所から見上げる中央アルプスの見事な山並みを感じているうちに、バスは次なる目的地にひた走る。途中、北アルプスの景観に見とれているうちに、バスは松本ICを降りて、山深い秋湯と呼ばれた鹿教湯の里にかかっていた。見事な紅葉に一同「オー！」と声を発しつつ、ガイドさんから次なる目的地に間もなく到着することを知らされ、降車の準備にかかった。

参詣のため下車した一

帯は、信州の鎌倉といわれるだけあって、神社、仏閣が多く、今回はその中の長野善光寺と相對して建てられたという北向觀音と、八角三重塔を参拝した。



疲れを感じながら夕刻前、宿泊地の戸倉上山田温泉ホテル清風園に到着、夜の宴会に備えて疲れを癒しに三々五々温泉に入り、小憩後に始まった一同揃っての大宴会は壯觀を極め、地方本部長挨拶、記念品贈呈に続く乾杯を経て、懇親会に入ったが、予告どおりの松茸づくしと銘打った見事な料理もそこそこに、ひさしぶりに再会の旧友の席にお鉢子をもって訪れるなど、宴会場はしばし騒然とした雰囲気包まれたが、自慢のノドに拍手を送ったり、再会を果たした旧友同士が車座になって談笑したり、空のお鉢子を差し上げて酒を頼む等々、二時間余に及ぶ宴会もアツという間で、中締め音頭で幕となった。

二日目も好天に恵まれ、九時、秋の冷気一杯吸いながら、再びバスの人となり、五台揃って一路松代の街に進み、城下町を巡りつつ大本営松代地下壕に到着した。

大東亜戦争末期近く

に、旧陸軍が総力を挙げて掘ったといわれるだけあって、規模は相当なもので、大本営移転先の予定をしたのも想像でき、見学で壕内に入った途端、昔を偲ぶには打って付けの設備で、当時の人海戦術を思い知ることができた。

しかし、今日ではこれを平和利用し、地震予知等の先端科学の粋を集めた施設として活用されていると聞き、頭の下がる思いがする。

そう言えば、三十年程前だったと思うが、松代群発地震が長く続いた折には、この装置が活躍したということを、当時の友人に聞いた記憶がある。

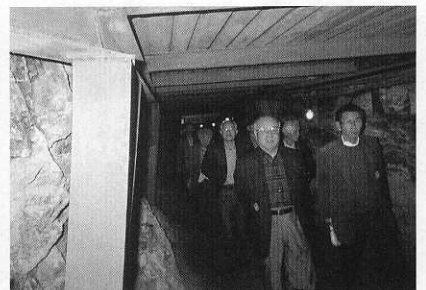
続いて、近くの酒蔵土産店に移ったが、夕べあれだけ飲んだにも拘わらず、近付くにつれ鼻にくるとは…案内の方の説明を聞き、試飲や利き酒ではしゃぐ姿は、年を感じさせずお土産か、帰りの車中用かは解らないが買い求めの列が長かった。

時の経つのも忘れ、添乗員さんやガイドさんにせかされて再び車中の人になったものの、すぐに最後の昼食処に到着した。往路同様各号車毎に集まって昼食となったが、誰いうとなしに信州へ来たなら、やはり蕎麦を食べんと来た気がしないという言葉を耳にしながらか、また、信州信濃の新蕎麦よりも、私しやあなたの…ではないが、風味溢れる蕎麦定食をご馳走になり、善光寺平を一望しながら家路への準備に入った。

帰路は、往路と同じ中央道を走るため、ビデオを見たりして解散となる恵那峡SAへと急いだ。

恵那峡SAでは、各方面別へ分かれて帰路につくため、お互いに健康を誓いあったり、来年の再会を約して手を固く握りあったり、買い忘れのお土産の補充をしたり等々、出発間際まで忙しい休憩であった。

JR東海バス増収協力額、概算500万円



愛・地球博で

「農兵節・追想三島山城中」を披露

三島支部長 大川一雄

三月二十五日～九月二十五日まで六ヶ月間、愛知県で開催された愛・地球博での「静岡の日(四月二十日)」イベントに向けて、県企画部の要請により参加した県内三団体の内の一団体に伝統芸能「農兵節・追想三島山城中」が選ばれ、三味線・太鼓・笛・鉦・唄と踊りを含み総勢二十名により上演、戦国衣装に身を包み、勇壮な唄と踊りにエキスポ会場満席の観客を魅了、大喝采、大好評を受け、その役目を果たした。

三島農兵節普及会の会長露木久夫氏が太鼓をたたき、同じ会員の武井秋雄氏が江川太郎左衛門に扮した。この農兵節は民謡チャッキリ節と並んで静岡県を代表する伝統芸能として、各地区でのお祭り、イベント等に欠かせないものとなっている。

農兵節の由来は江戸幕府の末期嘉永年間、伊豆の国韮山の代官江川太郎左衛門が我が国の海防の急務なことを幕府に説き、韮山に反射炉を築き、大砲の作成のかたわら若き農夫を集め、三島と韮山に農兵の訓練場を設け、農兵の士気の鼓舞と団結を計るため考案、ノエ節に「富士の白雪朝日とけて」と歌詞をつけて鼓笛隊を組織した。

その後、昭和初期三島中央町の酒屋平井源太郎氏が今の形に歌詞と踊りを振付、民謡として全国を風靡し、三島を代表する伝統芸能になったといわれている。

現在、農兵節社連は市内に二十数連あり、踊り手は六百人を超え、旧盆八月三島夏祭りには、旧国一大通り、大杜前から広小路駅までの一キロ区間を歩行者天国とし、農兵節パレードが次々と唄



愛・地球博(エキスポホール)平成17年4月20日

と踊りに練り歩き、両側歩道を埋めた大勢の市民見物客を喜ばせている。

なお、再来年には農兵節普及会五十周年を迎え、市内挙げて一大イベントを計画している。

この農兵節普及会会長は三島支部会員露木久夫さんである。

毎年、三島支部総会には第二部懇親会の余興として農兵節を披露、会員も輪の中に入り懇親を一層深めている。



伊勢支部活性化への諸行動について

伊勢支部 村林 隆吾

最初に、わが伊勢支部の生い立ちについて。

伊勢支部は、参宮線沿線地域と志摩地区に在住する鉄道OBにより、昭和四十七年十月十四日結成・発足し、今日に至っている。

会員数も百名程度だったが、平成五年の四百八十六名をピークに最近では約四百十名うちJR退職者七十四名(他に準会員約二百七十名)となっている。また、平成十六年四月一日に天王寺地方本部所属から、近隣の支部とともに名古屋地方本部に移籍した。

伊勢支部の基本目標は、会員相互の親睦と福祉の増進を図ることとし、年度初めに支部役員会で具体的項目に付いて協議し、総会に提案し順次実施している。これらを会員に周知する方法として、二十年以上継続してOB新聞の伊勢版を毎月編集、発行して会員に届けている。掲載内容は支部内の諸行事、連絡事項等々身近なことを幅広く記事としており、平成十八年新年号が二百五十号となった。

伊勢支部では、OB会活動の原点は「同じ釜の飯を食った仲間とは生涯仲良く」を目標として、会員に信

頼される魅力ある支部を目指して、次のような諸活動を進め、会員の提案・協力を得つつ成果を挙げ、この目的は達せられていると感じている次第です。

一 OB新聞伊勢版の毎月発行の継続

東海鉄道OB会の発足により、従来の毎月発行の新聞に代って三ヶ月毎発行の会報になった際には、役員会や多くの会員が支部独自の情報源としての伊勢版は、会員への具体的な連絡事項が掲載されており是非必要との強い要望があり、毎月発行を継続することになり、ごく一部の過疎地を除き毎月三十二名の会員が個別配達を続けて、完全ではないものの、会員の現況把握につとめている。

二 支部総会と同時開催の会員作品展示会

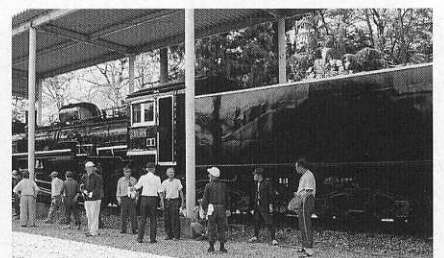
支部総会開催場所を、公営施設に移して、経費の節減を図り、徴収会費を少額にして、無駄なく実質的内容で満足できるような準備を整え、会員から好評を博している。

また、総会資料も事前にも多くの会員が目を通せるよう、伊勢版とともに会員宛に配達して、総会の出欠、議案の賛否、健康状態や意見等を葉書の回答で集約し、議事進行に好結果となっている。

一方、わが伊勢支部では、総会と併行して会員の作品展示会を開催しているが、他に例のないものと自負しており、その内容は書道、絵画、写真、手芸、生花、焼き物から伊勢型紙等々と広きに亘り、玄人顔負けの作品も多く参観者一同が、会員の芸の深さに驚愕している。

三 展示保存SLの清掃奉仕

支部管内の玉城町にC58型SLが展示保存されており、毎年春、秋の二回周辺の除草を含む清掃奉仕を実施しているが、毎回二十余名の協力があがり分担どおり



に作業が進み、きれいになったSLは町当局や訪れる皆様から大変感謝されている。なお、春には作業のあと桜の名所でもある城跡公園で一般会員、女性会員も加わり、化粧直したSL周辺で花見の宴を開き、SLや桜を眺めながら昔話の花も満開となります。

四 物故会員の慰霊法要

伊勢支部では、年一回秋の彼岸に遺族会員を中心にして、朝熊山で実施している。「伊勢へ参らば朝熊をかけよ、朝熊かけねば片参り」と古くから歌われ、伊勢神宮の鬼門を守る霊場として知られる金剛證寺奥の院で仏式により挙行した。僧侶の読経に続き、過去帳から故人の俗名が読み上げられる中、全員が焼香し、故人の冥福を祈っている。

五 七年続く月一回の歩こう会

平成十一年二月に始まった伊勢支部の歩こう会は、毎回盛況で今なお続き今月で八十回となった。

毎回三十数名の参加があるものの、近年では会員の高齢化が進んだことや、全般的に運動不足などから足腰が弱り、コースの選定には候補地の中から役員が実際に調査して、歩距離や標高差等を調べ体力や脚力に合ったコースを採り入れている。



また、OB会の主目的の一つである増収活動に協力するため、主としてJR沿線でコースを設定している。

六 グランドゴルフ

伊勢支部では、毎月実施の歩こう会とともに、長く続けているものにグランドゴルフがある。以前にはゲ



ートボールの時代もあったが、自然に消滅し、これに代わって平成十三年に、当時流行のグランドゴルフをスタートさせ、以後月二回程度開催して、現在七十回を数えている。

七 伊勢市施設の無料使用認可

団体によっては、伊勢市の施設が無料借用できることから伊勢支部では、平成十五年七月に伊勢市教育委員会に施設使用登録申請書を提出し認可を受け、現在伊勢市健康福祉センター、生涯学習センター、イセトピア、伊勢市営球場サブグラウンドの無料使用許可を受けている。更に、スポーツに伴う用具類の無料許可も受けている。

これにより、主に支部役員会議、グループの会合、グランドゴルフ、作品展示会の開催等、OB会活動に有効利用している。

八 支部役員の献身と努力

支部役員は前記のほか、支部としての業務の窓口を広くし、遺族年金受給手続きでは、鉄道共済組合への届出は、殆ど支部が代行し、手続きに添付する書類や、届出に必要な持参品などのアドバイスを行い、一回で手続きを完了させている。

会員増強では、二十年前の伊勢版創刊時から所在業務機関へ当時の全国版と伊勢版を持参して、退職者のOB会入会の働きかけを行ったのが始まりで、現在ではJR東海三重支店や所在業務機関をはじめ、出向社員（OB予備軍）の多い職場に会報と伊勢版を持参して交流を重ねOB会への入会の働きかけを行っている。

九 支部会員の協力

会員の支部行事に対する協力について述べてきましたが、行動を集約すると伊勢版編集、郵送、仕分けに七名、配達に三十二名、歩こう会には三十数名、グラ

ンドゴルフ二十名と重複を除いても毎月五十名以上の会員が、何らかの活動をしており、さらに年中行事としての慰霊祭、SL清掃、親睦旅行、総会等が加わるなど関係する会員数は相当な数となります。

このように、幅広く多数の会員が親睦を図りながら交流し、活発に活動が続けることが、組織の維持、拡大と強化に繋がることになると考えます。

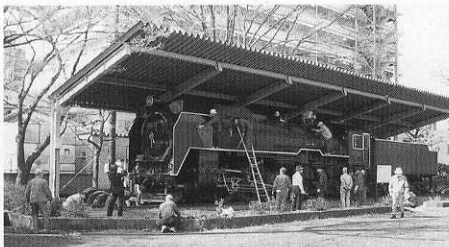
SL 清掃

沼津支部長 赤羽 隼雄

四月五日八時三十分から沼津駅近隣の桜の名所、高沢公園内展示の蒸気機関車（D52・136号）を有志会員三十五名の参加、静岡新聞記者取材の中で清掃した。先ずほうきで全体をはき、次にウエスで乾拭き、ホコリを取り、最後に錆び防止のため灯油にエンジンオイルを混ぜた油を全体に塗った。この間、高齢者、遺族会員は周辺の清掃、除草。桜満開の中、二十世紀の遺産が雄姿をピカピカに光り輝かせ、ホコリ、油まみれの一同、満足感に浸り清掃を終わった。

なお、この二十世紀の遺産、蒸気機関車を後世に語り伝えるため小松亀雄元沼津機関区長が指導責任者となり展示D52の見学者等に概要説明や鉄道全般の出張講義について市生涯教育課から「地域学習指導者」に登録された。

これらは四月六日付静岡新聞朝刊にカラー写真入りで大きく掲載され、しかも見出しに大きく「東海鉄道OB会が清掃」とあり東海鉄道OB会発足が広く社会にタイムリーに宣伝され、また 出張講義の問合せ先



の氏名、電話番号も掲載され、記事に関した問い合わせは現在四件もあった。

お召機関車C57 139号のお化粧直し

名古屋機関区支部長 永暮克巳

十月五日は、当支部の年中行事になっているC57 139号の清掃の日でした。

当機関車は名古屋機関区に配属され、お召し列車牽引機関車として入念に保守・点検された自慢のSLでした。しかし、動力車近代化が進むにつれ、昭和四十四年十月一日名古屋機関区よりSLがなくなる時、最後の「さよなら」列車をけん引し、多くのファンに惜しまれつつ、その華々しかった生涯を閉じました。

引退後は、先輩各位のご努力により準鉄道記念物に指定され、JR東海社員研修センターに展示保存されています。市内主要道路の桜通りに面して置かれているので、車の排気ガスや砂埃による汚れがひどいので、清掃を当支部が担当し、きれいに磨かれた姿で「鉄道の日」を迎えられるよう毎年十月上旬に有志が集まって続けています。

今年も津市より八十三歳の会員や、お召し列車の乗務員として当機関車に乗務経験のある会員など十八名が集まり、昔の思い出話に花を咲かせながら各部署に分かれて清掃をしました。



最後に前部に日の丸の旗を飾り付け、菊のご紋章を取り付けてお召しの晴れ姿に仕上げ、記念撮影をして作業を終えました。

機関車の腐食もひどくなっておりますが、来年も元気で再会し、暖かく守って行くことを約束して散会しました。

JR東海ト

ピックス

営業本部

「エクスプレス予約」サービス拡大 東海道・山陽新幹線全線で ご利用可能に

当社とJR西日本は、新幹線をいつでも便利にご利用いただくため、「エクスプレス予約」を東海道・山陽新幹線全線に拡大し、共同でサービスを提供することとしました。具体的には、サービス提供区間を現在の東京～新大阪間から、今年12月10日に新神戸まで、そして来年夏には博多までの全線に拡大します。

「エクスプレス予約」では、携帯電話やパソコンで新幹線の指定席を予約、何度でも手数料なしで列車の変更ができます。また駅では券売機でスムーズにきっぷを受取ることができることから、忙しいビジネスパーソンを中心に

ご好評いただいております。このような利便性に加え、指定席用の回数券より安く利用できるという価格メリットもあり、約36万人（平成17年9月末現在）の会員にご利用いただいております。

昨今はダイヤ改正の都度、山陽直通「のぞみ」を増発していますが、東海道・山陽新幹線をまたがってご利用いただくお客さまにも、「エクスプレス予約」の取扱区間拡大により、さらに新幹線の利便性が高まります。

社員・家族の皆さまも、ますます便利になる「エクスプレス予約」を、ぜひご友人、お知り合いにご紹介ください。

出張は、忙しい。

どこでも予約ができる。
自由に選べる。
持ち運びに便利。

だから、エクスプレス予約。

ますます便利に！
12月
新神戸
まで拡大



駅及び車内に危険物は持ち込めません。不審物は係員までお知らせ下さい。
Attention: Hazardous items are prohibited on station premises and on board trains.

東海道新幹線のカーティ予約「エクスプレス予約」(山陽線への区間内)

出張は、忙しい。どこでも予約ができる。自由に選べる。持ち運びに便利。だから、エクスプレス予約。

12月、新神戸まで拡大

平成18年度からは、東海道・山陽新幹線全線へご利用可能になります。

1 カンタン予約
2 変更自在
3 窓口にはきっぷの受取
4 トクをする

エクスプレス予約は、 このような方にお勧めです

いつも出張で、東京に。最低でも月に1回は行くかな…

●「エクスプレス予約」なら、自由席以下のおねだんで、指定席をご利用いただけます。例えば東京～新大阪間なら、いつでも13,200円。通常のおねだんより850円お得。^{*1} これは回数券1枚あたりよりもお得なおねだんです。^{*2}

●当日の予約でも、もちろんお得。しかも、きっぷの受取前なら、何度でも手数料なしで列車の変更ができます。まさに「新幹線」「エクスプレス予約」ならではのサービスです。

※1「のぞみ」普通車指定席(通常期)／※2 新幹線回数券20との比較。

単身赴任で、週に1回、東京と大阪を行き来するのですが…

●エクスプレス予約なら、こんな場合ももちろん、お得です。
●回数券のように利用できない期間もないので、年末年始などでも、お得にご利用いただけます。
●そして東京/品川/新大阪などでは、3日前の予約でさらにお得な「エクスプレス早特」。^{*3}「月曜の朝、金曜の夕方」にいつも同じ列車に「ご乗車が多い単身赴任のお客さまなどにおすすです。例えば、東京～新大阪間なら普通車12,000円(1,750円お得^{*4})、グリーン車でも14,000円(プラス800円でグリーン車)と、とってもお得です。

※3「エクスプレス早特」は、列車・区間限定のサービスです。

※4「ひかり」普通車指定席(通常期)との比較。

エクスプレス予約を 利用するには？

「エクスプレス予約」は、JR東海エクスプレス・カード(年会費1,050円)会員専用のサービスです。

詳しいサービス内容については、ホームページ(<http://expresscard.jp>)、JR東海の駅にある「入会申込書」でご案内しています。

※ホームページからは、個人会員の入会申し込みや、法人向けサービスの資料請求ができます。

東海道新幹線のカーティ予約「エクスプレス予約」

出張は、忙しい。どこでも予約ができる。自由に選べる。持ち運びに便利。だから、エクスプレス予約。

12月、新神戸まで拡大

平成18年度からは、東海道・山陽新幹線全線へご利用可能になります。

1 カンタン予約
2 変更自在
3 窓口にはきっぷの受取
4 トクをする

JR東海の社内誌「おれんじ」10月・12月号の記事を抜粋して掲載しています。

人事部

おめでとうございます

効績章表彰式

10月14日、第19回効績章表彰式を名古屋マリオートアソシアホテルで午前・午後の2部制で行いました。

表彰式では、松本社長から、受賞者（856名）の総代6名に表彰状並びに効績章が授与されました。

続いて、葛西会長、松本社長が、受賞者とご家族の方々に對して効績章受賞の榮譽を称えるとともに、「総合力に磨きをかけ、さらに存在感のある会社にするため、皆さんが蓄積してきた実績や能力を次代の人たちに引き継いでほしい」と挨拶しました。

これに對して、午前の部は身延工務区身延保線支区の高倉祐一さん、午後

の部は新幹線鉄道事業本部車両部車両課の宇田川秀明さんが受賞者を代表して「本日の受賞を新たな出発点とし、今後とも地道に著実に努力する」とも、当社の誇る安全・安定輸送や優れた鉄道技術、仕事に對する誇りを、若手社員に確実に継承していきます」と答辭を述べました。

なお、この他の永年勤続者表彰に對しても、それぞれの勤務箇所において行いました。受賞者は20年勤続者表彰12名、15年勤続者表彰202名、10年勤続者表彰328名の計1,398名となっております。

東海鉄道事業本部

東海道本線・中央本線・身延線・御殿場線等へ順次投入 在来線車両を新製

今回、輸送サービスの向上、安全対策の一層の充実を図るため、老朽化した電車234両を廃車し、最新モデルである313系電車204両を新製することになりました。

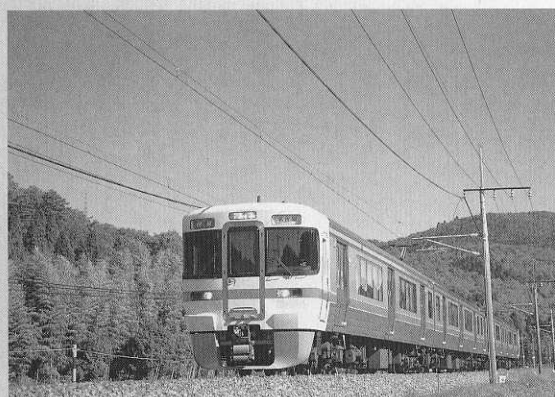
この313系車両は、VVVF制御や回生ブレーキを採用するなど省力・省エネ型車両であり、快適性や静粛性が向上し、お客さまから好評をいただいています。

さらに今回新製する車両は、車いす対応トイレなどバリアフリー設備をより充実する他、現行の313系と同様に緊急列車停止装置（EB）や

緊急防護装置（TE）を設置し安全対策を充実します。

また、運転情報（列車速度やブレーキ操作等）記録機能付きモニタ装置をICカード読み書き対応とし、記録した運転情報を各乗務員区に持ち帰り簡易に解析できるようにして乗務員支援の充実を図ります。

新製車両は、平成18年秋以降、東海道本線全線、中央本線、身延線、御殿場線などへ順次投入する予定です。なお、今回の新製により在来線で使っている車両の約8割がJR発足以降に新製した車両になります。



▲313系車両

◆ JR東海トピックス ◆

人事部

おめでとついでいます

平成17年度国土交通大臣表彰
及び運輸局長表彰

平成17年度国土交通大臣表彰式が「鉄道の日」の10月14日、東京・霞ヶ関の国土交通省で行われました。

これは永年にわたり鉄道関係に功勞のあった者に対して行われるもので、当社からは、前田幸一岐阜駅長、森博康中央電気所首席助役、佐藤年宣静岡運輸区長、見保健次郎大阪第一車両所教育センター所長の4名が北側国土交通大臣より表彰されました。

また、各地方において運輸局長表彰式が行われ、左記の方々が受賞されました。

平成17年度国土交通大臣表彰受賞者

前田幸一（岐阜駅）、森 博康（中央電気所）、佐藤年宣（静岡運輸区）、見保健次郎（大阪第一車両所）

平成17年度各地方運輸局長表彰受賞者

●関東運輸局長表彰

室伏洋好（新幹線鉄道事業本部電気部信号通信課）、西山 泉（新横浜駅）、大島善次（東京第一運輸所）、脇 伸一（東京第二運輸所）、奥岡克則（東京第一車両所）、友野春男（東京施設事務所）、佐野 学（身延駅）

●中部運輸局長表彰

宮崎亮次（大垣駅）、平地雅信（中部天竜駅）、杉本一憲（岐阜羽島駅）、栃本広美（名古屋駅）、中村富士夫（岐阜駅）、日比野郁男（大垣運輸区）、桂川治郎（高山運輸区）、櫻井希宏（名古屋工場）、吉田 充（同）、鶴見幸男（同）、佐々木伸一（美濃太田車両区）、岩井三津雄（名古屋土木技術センター）、鈴木輝夫（熱海駅）、加藤憲夫（同）、水野博文（浜松工場）、内田英年（同）、辻村幸男（同）、石川恵一（三島車両所）、井口守（同）、木村 敬（名古屋保線所）、山下和敏（静岡保線所）、堀川通之（名古屋電力所）、片山正明（浜松電力所）、青野正行（名古屋信号通信所）、山崎栄治（静岡信号通信所）、大庭洋行（沼津駅）、坂保 昇（富士宮駅）、宮本修二（静岡駅）、岩崎和好（浜松運輸区）、小澤徳晃（御殿場工務区）、孕石 守（静岡保線区）、世古武一（伊勢運輸区）

●北陸信越運輸局長表彰

加藤邦和（木曽福島駅）、園原堅次（同）

●近畿運輸局長表彰

吉田精次（新大阪駅）、中尾恒夫（京都駅）、野々村 守（大阪第一運輸所）、山内克二（大阪第二車両所）、丸岡助和（大阪電力所）、西 博光（大阪信号通信所） ※敬称略



▲国土交通大臣表彰式

事業推進本部

静岡市最大のショッピングセンター

「セントラルスクエア静岡」
グランドオープン

11月3日、静岡市駿河区（区役所隣）に静岡市最大となるショッピングセンター「セントラルスクエア静岡」がグランドオープンしました。

セントラルスクエア静岡は、ジェイ

アール東海不動産株式が社宅跡地を利用して開発した大型商業施設で、ショッピング館、グルメ館、スポーツ館の3つの建物で構成しています。

ショッピング館には、快適な空間で日常生活に必要な品々やお洒落なファッション商品などの買い物が楽しめる「アピタ」が outlet しています。

グルメ館には、カフェ、洋食、和食、中華など、話題性のある12の飲食店が outlet し、レストラン街として賑わいをみせています。

スポーツ館には「ゴルフ5」と「アールペン」が outlet し、スポーツ用品はもちろん、オーダークラブに対応できる工房や最新計測器を配備した東海地区最大級の総合スポーツ店となっています。

3館が相乗効果を発揮してお客さまの期待に応えていくことにより、セントラルスクエア静岡は、地域の皆さまに日常的にご利用いただける魅力あるショッピングセンターを目指してまいります。



▲テープカットの様子



▲▲グランドオープンした「セントラルスクエア静岡」



///グループインフォメーション



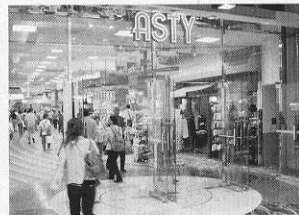
賑わいのある駅ビル開発を目指して

新横浜ステーション開発(株)

当社は新横浜駅構内の商業施設「アスティ新横浜」の運営や東海道新幹線の高架下(東京～熱海間)を店舗・貸事務所・駐車場等として開発・管理しています。新横浜駅周辺には、ワールドカップ決勝戦会場となった「日産スタジアム(横浜国際総合競技場)」や国内最大級のホール「横浜アリーナ」等があり、イベント開催時は街全体に活気が溢れ多くのお客さまで賑わっています。

今年7月からはJR東海新横浜駅ビル(仮称)の建設に着手していて、新幹線ホームから駅ビル工事の様子を見ることができます。新横浜都心にふさわしい、賑わいのある駅ビルにするよう、平成20年の開業を目指し取り組んでいます。

今後は工事の支障に伴い「アスティ新横浜」の一部店舗が順次閉店する



▲アスティ新横浜



▲JR東海新横浜駅ビル(仮称)



▲高架下店舗開発(有楽町)



▲高架下貸事務所開発(汐留)

こととなりますが、残る店舗においては引き続き魅力ある店舗営業を展開してまいります。新横浜にお越しの際はぜひお立ち寄りください。



お客様に安心・満足される製品を提供し社会に貢献

ジェイアール東海建設(株)

当社は昭和63年に設立され、JR東海グループの一員として駅や線路構造物及びグループ会社の事務所、店舗などの建設・改良を行っており、「安全に、品質良く、経済的に、その期日を守って」施工することを使命として、JR東海エリア内で事業展開しております。

事業は、土木、建築、営繕、グリーンの4つに分けられ、土木部門では、愛知万博会場へのスムーズな輸送力を確保するための工事、各所での高架橋耐震補強工事や、平成16年10月に開業した「あおなみ線」の工事及び沿線自治体からの要請による立体交差化工事などを行うことにより、そのエリアの利便性の向上や活性化に貢献しています。

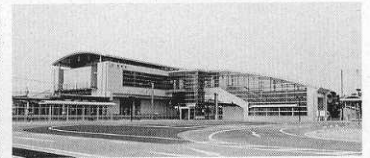
また、建築部門では愛知万博における「JR東海 超電導リニア館」、JR東海新横浜駅ビル(仮称)、東海道本線舞阪駅等の橋上駅舎化及び牧野社宅の新設や名古屋駅リニューアル工事を、営繕部門では駅建物や事務所・



▲タワーズプラザ



▲中央本線勝川駅付近高架化



▲東海道本線舞阪駅橋上駅舎化

社宅などの維持修繕工事を、そして、グリーン部門は、タワーズプラザなどの造園工事や観葉植物の販売・リース業などを行っており、皆さんの身近で活躍しています。

今後とも建設技術と鉄道技術のさらなるレベルアップを図り、JR東海グループの発展に寄与できるよう頑張っております。



車両と設備の安全を支える

東海交通機械(株)

私たち東海交通機械は、JR東海の車両と設備のメンテナンスを主体とした業務を行っています。営業エリアは東京から新大阪の間で東京支店をはじめ、13箇所に拠点を設けています。

車両部門では、新幹線や在来線車両の検査・修繕や改良工事のほか、腰掛や客室灯具など車両部品の製作も行っています。また山梨リニア実験線の車両と設備の保守点検も行っています。

機械部門ではJR東海各駅の券売機、改札装置、エレベータ、エスカレータ、ホーム可動柵、空調装置など駅設備の新設工事や保守点検、米原地区の新幹線スプリングラ設備も担当しており、タワーズをはじめグループ各社の設備工事も行っています。

また、今年7月からJRの業務改善に伴う設備所・機械区の業務を受け



▲リニア車両の出庫前点検作業



▲新幹線改札装置の保守点検作業

入れ、全ての設備故障を24時間対応で受け付けるコールセンターも新設しました。

当社の社員数は、JR東海からの出向者300余名を含めて現在約800名であり、日々、品質の向上・業務の効率化などに取組み、JR東海の安全・安定輸送を、車両と設備の両分野で支えています。

ホームページ<http://www.t-ckk.co.jp/>



し 奈 良 う る わ う ま し



万葉の時代と変わらぬ自然の中に
悠然と構える、壮大な歴史。
千三百年という時空を超えてなお、
先人たちの高い志を、感じずにはられない。
さあ、奈良へ。
日本人の原点を発見する悠久の旅へ。

東大寺遠景

2010年 平城京遷都 千三百年

読者のひろば

運命

長泉支部 宇津木 弘利（九十二才）

あなたの長生きの秘訣は、よく聞かれる。そこで次の三つを答える事にしている。

一 酒とタバコを飲まない

二 運転免許証がない

三 絶えず異性に関心を持つ

この三つは、人生を楽しく暮らすには不便もあろうが、不便は便利、それが長生きさせてくれていると思えば、過去九十二年の人生意義ある人生であったと思っている。

二十歳で徴兵検査、甲種合格、入営十日前に突然の発病（腸捻転）十日後に再手術、医者から死の宣告、奇蹟的に死を逃れて三十才迄は生きられないと云われた。でも今九十二才の域に入り幾つかの公職で若さを保っている。

戦争がはげしくなり召集、第二補充兵から丙種迄全員召集、その中不思議と自分には令状が来なかった。そして八十三名の同級生の中戦死三十名、之で二度の命拾い、君は運がいいと世間から云われ、何か自分が悪い事をした様な気がして、肩身が狭かった。

更に、米軍による本土空襲で家の五十米先に焼夷弾が落ちて二軒の家が丸焼け、然し空襲中は消防も動けず近所の人達もみんな山へ逃げて消火する人がいない。自分は老婆をつれて逃げられず、妹と小学生二人を逃し妻と二人で延焼を防いだ。焼けなかった、之も一つの運、昭和四年日本が不景気のどん底大就職難時代小学校を卒業し当時憧れの的だった国

鉄を志願、八十三名中試験採用三名でその中の一人となった、そして他の二人は二十才を超えて他界した。

自分は小学校三年の時自分を頭に四人の子供を残して父三十四才で他界（国鉄の機関士）母の苦労は並大抵ではなかったろう。でも自分の沼津機関区へ就職で一家を支える事が出来て、（日給一円五銭）九十一才で逝った母に孝養を盡す事が出来たと自分一人思っている。

逆境に育った自分が三つの試練を乗り越えて、今の長寿すべて奇しき運命と思い毎日を送っている。残念なのは二十五年前最愛の妻に先立たれた事である。

蒸気機関車と語る

高山支部 坂本 武

本年七月、高山市民の交流の場として、昭和児童公園が完成し、「ふれあい夏まつり」が行われた。

公園内には高山本線を通った蒸気機関車とラッセル車が保存されており、通称「ポッポ公園」と名付けられた。童謡「汽車ポッポ」を口ずさむと、何かのどかな田園風景が浮かび上がり、豊かな子供の心になってきて、市民の憩いの場となっている。

機関区に勤務していた私達OBの九六会では、偶数月の第二日曜日に、この機関車を磨き掃除しながら郷愁と回顧にしたっている。

私は機関士に憧れ、小さな胸をふくらませ機関

区に就職したのは十五歳、昭和十五年の秋であった。それから蒸気機関車と共に喜びも悲しみも人生の大半を過ごしてきた。

蒸気機関車は機関助士が苦勞してつくる蒸気を機関士が使って走るのであり、それだけに心のつながりと思いが要求される。力を合わせて五感を働かせ、機関車の鼓動と一体となり、祈る思いで重量列車を牽引し、耳を圧するドラフトの音と煙のトンネルを出て山を登りきった時のすがすがしい充実感、空気うまさ、水のうまさも今でも思い出される。

戦争激化と共に出征兵士の輸送にたずさわって、歓呼の聲に送られて出発する列車の機関士席で、あご紐を締め直した緊張感。終戦後は海外からの多くの復員者、引揚者の輸送に従事し戦後の日本復興に若き情熱を燃やした日々。今、機関車に触れ、語りかけると過去の思い出が泉のように湧き上がってくる。

乗務員は列車出発時刻の一時間前には出勤し、機関車の点検整備を念入りに行う。その為には通勤時間を含め一時間三十分前には家を出ることになる。若き機関士の頃、或る雪の朝、富山行き一番列車乗務運転のため、三時三十分起床し二階から降りてくると、母親が囲炉裏で薬缶を掛け薪を燃やし、居眠りをしながら私の起きてくるのを待っていた。そうして、「お前は八百人程の命を預かって走る機関士や」、事故を起こさないように「朝のお茶は災難を払う」と言いながら温かいお茶をたててくれ送り出してくれた。その姿が今も目に浮かぶ。こうした母親の思いやりと多くの人々の支えにより、無事故で四十一年間の鉄道生活を終えることが出来、感謝している。

最近発生したJR福知山線での快速電車脱線事故、尊い百七名の命が亡くなり、五百名を超える負傷者が続出。海では尾鷲市沖のタンカー衝突炎

上事故により六名が死亡し、又、空では航空機のニアミスが続発しており、その事故原因はいづれも人的原因によるものと言われており大変憂慮されるところである。

科学文明の進歩は著しいものがあるが、それを扱うのは人であり、職責の自覚と共に、励まし助け合い、支え合っていく社会造りこそ事故防止なるものと思う昨今である。



熊野古道に魅せられて

蟹江支部 東昇

気持のよい目覚めだ。昨年七月に日本で第十二番目に世界遺産登録を受けた熊野古道ツツラト峠コースに挑戦の日だ。

紀伊長島は、小学二年〜三年にかけて住んだことがあるから懐かしい。第二次世界大戦の勃発の年でもある。それから六十四年の歳月が流れたいま、元気にこの目でその土地を確かめることを幸せに思う。

桑名から「ワイドビュー南紀一号」に乗車。伊

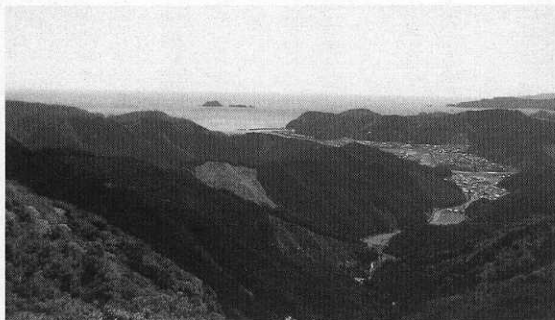
勢鉄道線に入ると窓外に移り変わる田園風景は、すつきりとした絵模様のようだ。

旅には、いつも愚妻がそばにいて、愛車がそばにある。今回は、鉄道を選択した。津から紀勢線に入り下車目的地「梅ヶ谷」駅（臨時停車）十時三分に着く。降りてびつくり。

同駅は駅員無配置で下車したのは私一人だ。これから、案内地図に従いツツラト峠を目指し、不案内な道を歩むことになるが、自信がない。ツツラト峠口からは森林の中を行くコースだ。

谷川のせせらぎ、透き通った鶯の鳴き声、まさしく森林浴、木々の間を抜ける気持よい風。とても癒しの瞬間だ。オゾン一杯たつぷりと。いよいよ山道も険しくなり一歩一歩踏みしめながら滑らないよう、あえぎあえぎ暫く登る。

やっと正午前にツツラト峠の第一見晴台に到着。前



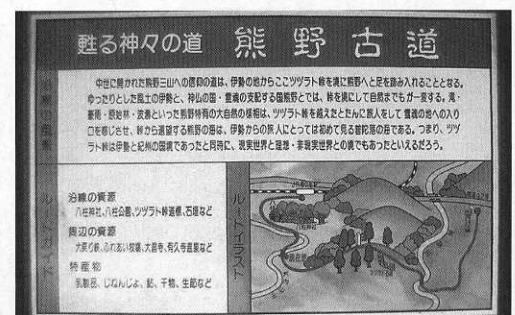
方に熊野灘の水平線、エメラルドの海を眺めながら「にぎりめし」をほおばる。機上から眺めているように紀伊長島の街並が小さく見える。

下り道は、道幅がやっと人が通れるくらいで急な下り勾配だ。ときどき石畳の途中で、小休憩。「山の神」紀伊長島町指定文化財の碑、棚田跡を見て、志子川沿いに紀伊長島駅方に向う。

幼い頃椎の実を拾い集めた懐かしい二郷神社に参詣。二郷小学校は見当たらず、紀伊長島駅の海寄りに「東小学校」として移転されていた。校門前で「おじさん気をつけてね」と優しい言葉をもたらい、旅の疲れも癒された。

県立片上池公園を訪ね、池の辺に腰をおろす。感無量だ。「孫の郷トンネル」を浜側に抜け、当時の造船所の跡地、製材所等を見る。「ああ、あそここの田圃で夕方赤トンボを追いかけた」と思うことしきりだ。両郷橋を渡り紀伊長島町本町へ向う。赤羽川の長島橋を渡って長島港まで足をのばす。磯のにおい、波打ち際の波音を聞きながら当時の懐かしい思い出に満たされた。

六十年経っても幼い頃の記憶をもとに、ありし日の父や母を偲ぶいい機会を得たと感謝している。熊野古道ツツラト峠を訪ねたことは、意義深い旅だといつまでもあたためておきたい。



短 歌

終戦を機関車の上で聞きしより

七十九ななの今の命いたたく

夜勤終え帰りし家で爆死せし

河合千鶴子よ今も逢いたし

津支部 岡 俊雄

手摘みせる新茶の香りをゆうパックに

我が健在を友に告げたり

渾身の力を込めて羽化せしや

空蟬しかと小枝を掴む

裾野支部 池谷秀夫

今の世は命の重さ忘れさり

エゴの戦続くを悲しむ

厳しき冬に耐えてきしミカン柿

炎暑もめげず実たわわにつく

四日市支部 小川 勇

今すぐに発車しそうなD52かな

清掃終えし友と団欒

時計のあと手首に残し日焼けして

今年の暑さも終はんぬ

沼津支部 山田寿男

老いし身は子に従えと古語にあり

家族和の字で今日も暮れゆく

赤く燃ゆ楓紅葉の美しく

秋深みゆく伊吹野の丘

滋賀県支部 谷川虎太郎

俳 句

元旦や笑顔を乗せて電車行く

裏庭へ日の廻りたる実南天

収穫に子等も手を貸す豊の秋

富士支部 田中義作

菊匂ふまで車椅子近寄せる

幾重にも菊を重ねて名古屋城

白菊の虫食いとでも美しき

津支部 濱口義徳

鷺草の翔るかの様一指添え

亡き夫と暮せし住家草茂る

生き生きと暮らす老いの日更衣

春日井支部 秋田洋子

宵祭り金魚の浴衣走り出す

盆の風年に一度の踊りの輪

宅急便小走りにゆく母の日

四日市支部 小川 勇

障子貼る姉がきそうな日和かな

水仙や瓜崎岬晴れわたり

水まいて風の過ぎゆく駅舎かな

沼津支部 山田寿男

近く聞きいつか遠のく時鳥

白日傘産寧坂に消へにけり

秋澄むや湖心に向ふ定期船

浜松東支部 大倉照二

川 柳

躊躇する背中を想定内が押す

説教が回り道して自己弁護

富士宮支部 渡辺定善

タダと聞きのみぬ薬も持ち帰る

足腰は萎えても口角泡とばす

津支部 宮田孝也

何事も笑顔でさばく妻の知恵

間抜けさを陽気で生きて得な人

沼津支部 山田寿男

茶柱が今日の出会いに花を添え

夏祭り颯爽とゆく下駄の音

四日市支部 小川 勇

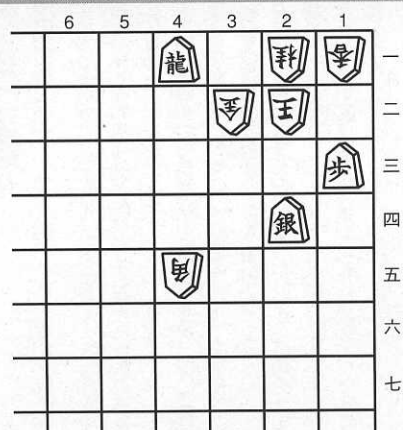
終章のときめき旅の地平線

リハビリの苦痛に耐える自尊心

大府支部 藤井芳雄

詰将棋

出題者 高蔵寺支部 前田 博文氏

★ヒント
五手詰

●持駒 金・銀

※解答は16ページ

駅探訪

身延線 身延駅

●開業 / 大正9年5月18日
●所在地 / 山梨県南巨摩郡身延町打

富士から特急「ワイドビュー
ふじかわ号」に乗車。車窓
に雄大な富士山、美しい富士
川の流れを映しながら、連
続するカーブ、いくつものト
ンネルをくぐり抜けると身
延に到着。山梨県の南部に
位置し、森林に囲まれた自
然豊かな町並みが心を和ま
せる。



身延駅より富士川を越え西に向かうと日蓮
宗の総本山・身延山久遠寺（くおんじ）。格式を
感じさせる建物が立ち並び、高さ21mの三門は
日本三大門のひとつと言われている。

身延山の門前町には数珠や木鉦（もくしやう）
など、仏具を扱う商店が軒を連ねる。また、身延
の名産のひとつで、僧侶の貴重なたんばく源と
して食されてきた「みのぶ生ゆば」は700年
もの歴史を有し、「伝統の味覚」として今も人々
を魅了している。もうひとつ、身延名産で忘れて
はならないのが「南天」を使ったワインやのど飴。
南天は6月頃に白い花を咲かせ、秋から冬にか
けて赤い実を付けるメギ科の植物。この葉やク
キを利用した加工品が町の特産物となっている。
本堂の傍から出るロープウェイで7分ほど登
った山頂には奥の院が。山頂展望台からは富士
山はもちろん、駿河湾も一望できる。身延山は
春には樹齢400年のしだれ桜が咲き誇り、秋
には裏参道の林道が鮮やかな彩りを見せてく
れる。

「会報への寄稿、 文芸欄への投稿」要領



支部及び会員からの寄稿

1 「支部だより」

「読者のひろば」

「短歌、俳句及び川柳」

支部総会、増収協力旅行、清掃
美化活動、事故防止運動、会員交
流会等の支部からの「便り」、会員
からの「情報体験談等」の寄稿、
「短歌、俳句及び川柳」の募集を、
今までどおりの要領で随時受付し
ておりますので、寄稿をお待ちし
ております。

2 「寄稿及び投稿先」

〒四五〇〇〇〇二

名古屋市中村区名駅

三十三三十二

キヨスク名駅ビル内

東海鉄道OB会・会報編集係宛

会員からの 会報表紙写真募集

会報誌の表紙写真に使用する
写真を募集をいたしてありまし
たが、第四号（一月号）に会員
からの応募写真を掲載すること
ができました。引き続き第五号
（四月号）以降も会員からのご応
募をお願いし、「会員で作る会報」
として表紙も会員の作品にした
いものです。それぞれの会報発

行時期の季節にあつたもので、
画面に列車等が入っているもの
とは限定していませんが、JR
東海エリアの地域内が好ましい
と希望します。カラーB5サイ
ズ以上一枚、ポジフィルム、デ
ジカメデータ（解像度A四サイ
ズで三〇〇DPI以上）送付別
紙に所属支部、氏名、住所、電
話番号を記入し添えて下さい。
なお、複数ご応募いただいた
場合には会報編集委員会にて採
用選考させていただきます。
また、お送りいただきました
もののうち、ポジフィルム、デ
ジカメデータ記録媒体について
は、後日お返しいたします。

詰将棋の解答

① 3 三金打 ② 同桂

③ 1 二歩成 ④ 同香 ⑤

1 銀打まで

参考（次の手順もあります）

① 3 三金打 ② 同桂

③ 1 二歩成 ④ 同王

⑤ 1 三銀打まで

編集後記

会報第四号（一月号）の編集と 今後の投稿等の依頼

東海鉄道OB会発足後初めての意義深い新年を迎え、堀内会長及
び東海旅客鉄道株式会社代表取締役社長松本正之様から会員の皆様
への新年ご挨拶を冒頭にご紹介しました。

我々会員も、東海鉄道OB会の基礎確立と組織の充実、特に会員
増強運動の積極推進を図り、JR東海及び関連グループの事業への
協力、増収協力活動の推進に努力することを誓いましょう。

今回の会報も会員の皆様から多くの投稿をいただき「会員で作る
会報」として編集して、ご紹介することができました。ごいしました。
特に、最近入会された若手会員の関ヶ原支部「柏昌孝様」から会報
誌の表紙に掲載する写真を頂いたことをご披露します。

1 名古屋地方本部で、地方本部表彰制度を設けて表彰式を挙げたこ
と、名古屋地方本部が主催して、地方本部全体の会員を対象にして、
毎年二百名近くのJR増収協力団体旅行を行っており、本年度第十
五回の実施概況を紹介しました。

2 「愛・地球博」静岡の日「四月」千旦に、静岡県を代表する伝統芸能
「豊後節・追廻」三島中城が上演され大好評を博しましたが、それを
演出したのが豊後節普及会長「露木久夫氏」で、同氏は静岡地方
本部三島支部の会員でその活躍状況を紹介しました。

3 OB会活動の原点は支部の活動にあると申し上げていますが、今
回は会報第三号の藤枝支部に続き、伊勢支部の「伊勢支部活性化
への諸行動」と幅広い活動の苦労談をご紹介いたしました。

なお、前号の「会員増強にいま藤枝支部は」記事の三段目第四
行中に「四十一・五十名」の記載は、「四十四・百五十名」の誤り
につき訂正願います。会報投稿者及び会報読者に謹んでお詫
び申し上げます。

4 詰将棋等を今後随時掲載する予定ですが、誌面上のスペースの
都合で今回は詰将棋の簡単な一題を掲載しました。次回は詰将棋の予定
短歌、俳句、川柳については、会員の皆様からご遠慮のない幅広い
応募をお待ちしています。

6 会報誌編集についてのご意見、ご希望等遠慮なく是非お寄せいた
だくようお願いいたします。

（杉浦）

発行 千四五〇〇〇〇二

名古屋市中村区名駅 三丁目十三・十二

キヨスク名駅ビル内 東海鉄道OB会本部

発行人 杉浦 定行

電話 〇五二一五六二一六〇八〇（FAX兼用）